

KINUGAWA

第73期 第2四半期

株主通信

2011年4月1日～
2012年3月31日



エアダクト
エンジンへクリーンエアを
誘導させるためのホース

スピード・変革・チャレンジ

 **Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.**

〒263-0005 千葉県稲毛区長沼町330番地 TEL: 043-259-3111 (代表) FAX: 043-259-3380

URL : <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>

私たちのいまをお届けします

株主のみなさまへ



代表取締役社長執行役員
関山定男

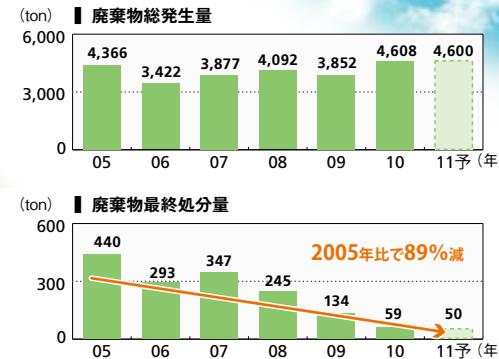
株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
また、東日本大震災発生から早や9ヶ月を経過いたしますが、未だに被災により不自由な生活を余儀なくおられている皆様には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復旧復興されますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、第73期第2四半期の株主通信をお届けいたします。
2012年3月期第2四半期の当社グループ連結業績は、増収増益となりました。震災による影響もございましたが、いち早く復旧・操業開始を果たせたことにより、その影響は限定的なものに留めることができました。また6月以降は一転増産への対応に迫られグループあげての生産変動に対する効率的な対応を図ってまいりました。今後もますます世界経済の不透明さが増すなか、自動車産業のグローバル化への変革に先んじた経営を図り、グループ一丸となって諸施策に取り組んでいく所存です。
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

環境への取組み

当社は、今年度の主な活動の一つとして「環境への取組み」を掲げ、廃棄物の削減、リサイクル率の向上、最終処分量の削減を目指しグローバルで活動を展開しております。

- 総発生量は残念ながら生産量の変化にはほぼ連動しています。尚一層、工程不良削減や材料歩留まり向上の活動を推進してまいります。
- 2010年度の最終処分量は、従来の活動に加えサーマルリサイクル、固化燃料等の再資源化への利用が寄与し大幅に減らすことが出来ました。
- 国内の主な生産拠点では既にゼロエミッションを達成しており、2010年度は2拠点で次のステップである100%リサイクルを達成しました。(郡山、大分)
引き続き、再利用可能な樹脂材料への転換拡大採用、分別の徹底を積極的に推進し、廃棄物低減と再利用活動を行ってまいります。



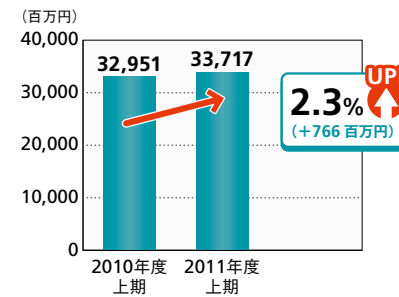
業績の概要

2012年3月期第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災後の供給制約が解消し生産や輸出が回復したものの、欧州に端を発した世界経済減速懸念や円高の長期化により先行き不透明感が増しております。当社グループの主要得意先の自動車生産は国内は震災の影響

により前年比で約1割の減少となりました。海外は一時的に生産台数が減少しましたが、その後新興国を中心に増産となり、約1割増加しました。グローバルでは、前年同期比で約1割の増加となりました。

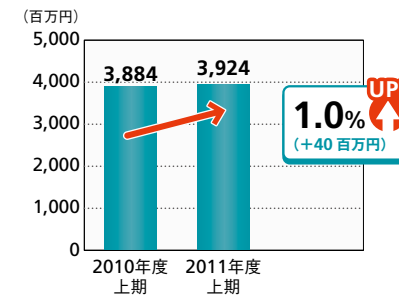
● 損益計算書

売上高



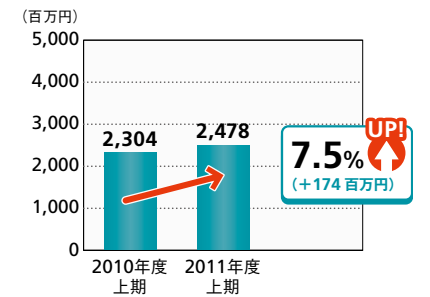
Point!
震災の影響により、国内は生産台数減により売上が減少しましたが、新興国を中心とした販売増により、売上は増加しました。

営業利益



Point!
震災後の、素早い対応（生産設備復旧・増産への対応・モノ造り改善の推進など）により増益となりました。

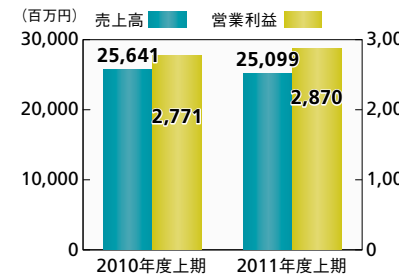
四半期純利益



Point!
前年同期比7.5%の増加となり、上半期としては過去最高益を更新しました。

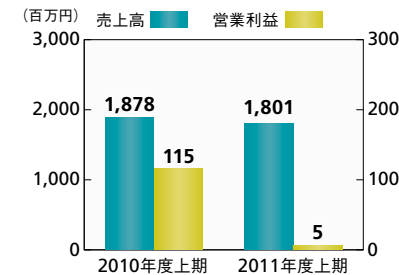
所在地別状況

日本



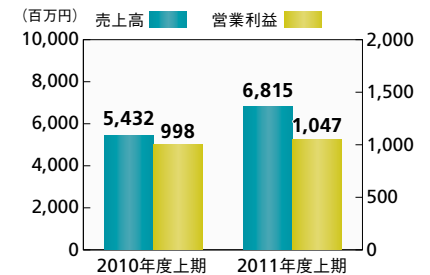
Point!
震災影響による生産台数減により売上は前年同期比減少しましたが、営業利益は徹底した総コスト削減活動などにより増益となりました。

米州



Point!
営業利益は、生産台数減による売上減に加え、材料市況の高騰、メキシコ工場設立費用などを改善活動などで吸収し切れず、前年同期比95.5%減となりました。

アジア

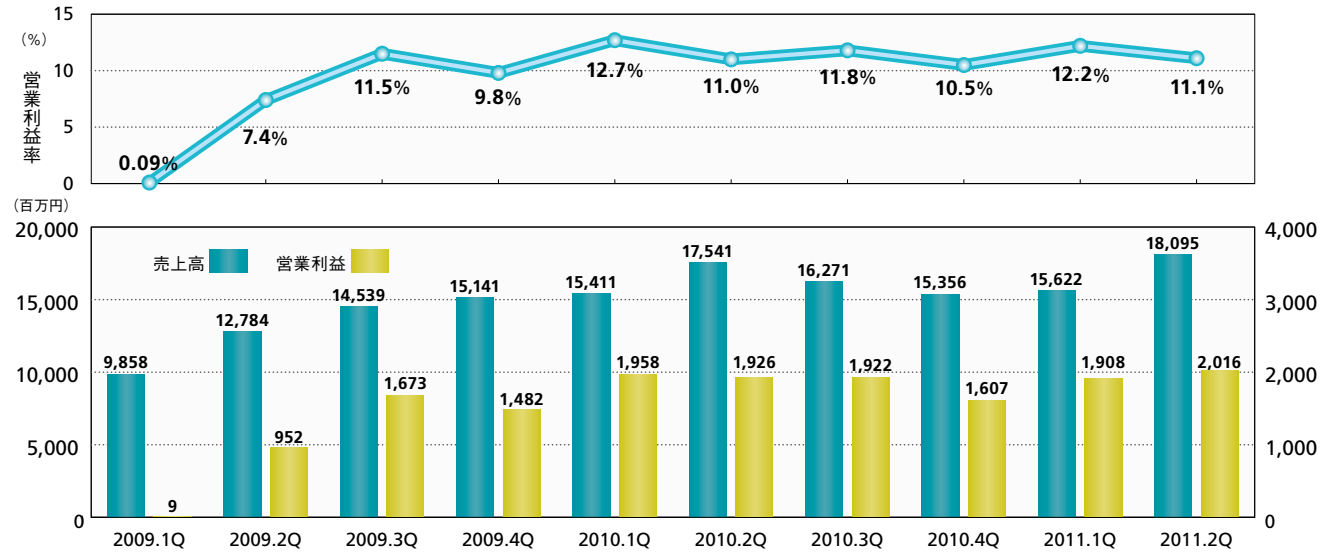


Point!
中国の自動車生産台数が引き続き増加し、材料市況の高騰によるマイナス要因はあったものの改善活動の効果などにより、前年同期比増収増益となりました。

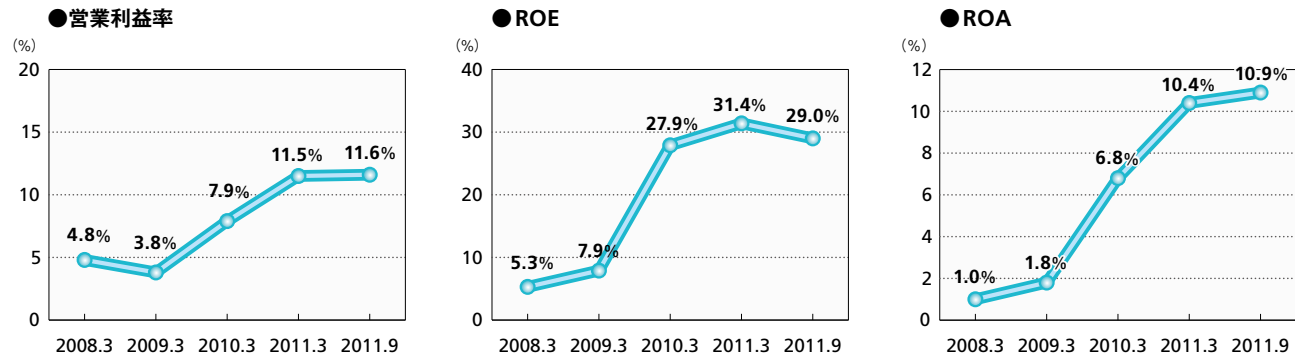
四半期業績の推移

第1四半期の売上高は156億2千2百万円となり震災影響はあったものの限定的な影響に留まり、第2四半期は180億9千5百万円と前年同期比増収となりました。営業利益も素早い正常生産への移行やその

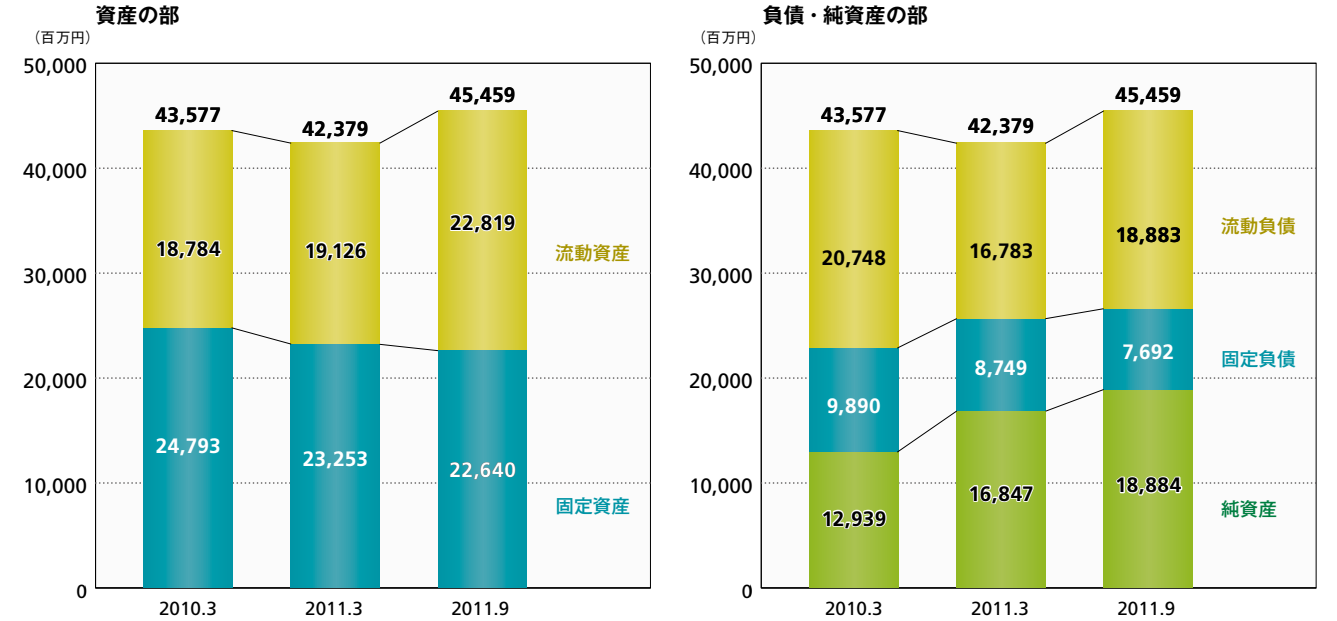
後の増産へのロス無き対応、モノ造りの継続的な改善活動などにより、前年同期比増益となりました。



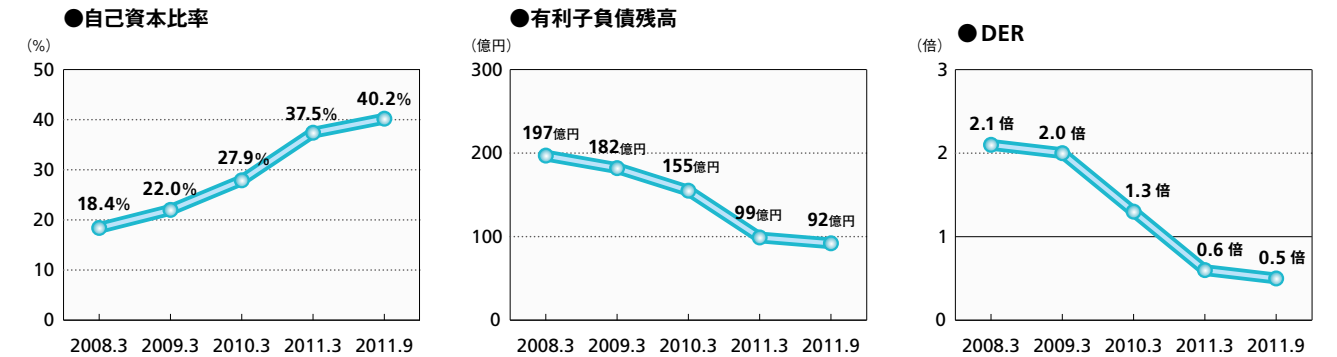
主要経営指標の推移



貸借対照表



四半期業績の推移



注) 2012年3月期第1四半期連結会計期間より、存外子会社等の収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算する方法に会計方針を変更しております。
(これにより本書における過年度の数値も期中平均相場を適用)

トピックス

和承R&A社(韓国)との業務提携

7月、和承R&A社と自動車用ゴム部品事業において、両社でシナジー効果を期待し業務提携を進めることに合意しました。これは顧客からの海外現地生産要請に迅速に応え、海外進出に伴うリスクに対応しながらお互いの経営資源を有効に活用し、利益ある成長を実現させるためのものです。



帝都ゴムの完全子会社化

8月、株式交換により帝都ゴム(株)を完全子会社としました。これにより、同社の保有する技術力を活かして、車体シール部品・防振部品からホースまで一貫した製造販売体制を構築し、製品開発力・コスト競争力の強化及び自動車用ゴム部品のフルラインアップセールスによる販売力強化を図ります。



VOLVO サプライヤーアワード受賞

4月VOLVO社より、2010年度における当社の品質をはじめとした総合的な貢献度に対して同社のサプライヤーアワードで表彰されました。同社が取引するグローバルサプライヤーの中から7社が選ばれ、日本からは当社を含め3社が選ばれました。



IR活動～機関投資家様向け決算説明会の開催

5月、機関投資家様を対象に決算説明会を開催いたしました。当日は31社44名の機関投資家様が参加されました。今後も定期的に機関投資家様向けに加えて個人投資家様向けへの会社説明会も開催する予定です。



「鬼怒川ゴム鬼望会(きぼうかい)」設立

8月、「鬼怒川ゴム鬼望会」を発足させ、設立総会を開催いたしました。これは、国際競争力のある事業運営を推進するために、会員(サプライヤー17社)相互における情報交換や会員各社の事業運営の向上を図ることを目的としております。



小菅(株) 小菅会長



会社概要

2011年9月30日現在

名称	鬼怒川ゴム工業株式会社 Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.
証券コード	5196
本社所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町 330 番地 TEL: 043-259-3111
設立年月日	1939年10月1日
資本金	5,654百万円
主要な事業内容	自動車用ゴム及び合成樹脂製品の製造・販売
従業員数(連結)	3,567名
営業所	大阪営業所 大阪府吹田市南金田 2-3-26 ファーイースト 21 803号 TEL: 06-6155-4599

役員体制

役職名	氏名
代表取締役社長執行役員	せきやま さだお 関山 定男
取締役常務執行役員	よだ のりお 依田 憲雄
取締役常務執行役員	こくすり じろう 小薬 次郎
監査役	すえまつ けん 末松 謙
監査役(非常勤)	おおき あきら 大木 宣
監査役(非常勤)	いまい のぶゆき 今井 信行
監査役(非常勤)	よしの ひろあき 吉野 博昭

海外拠点



国内拠点

生産委託会社

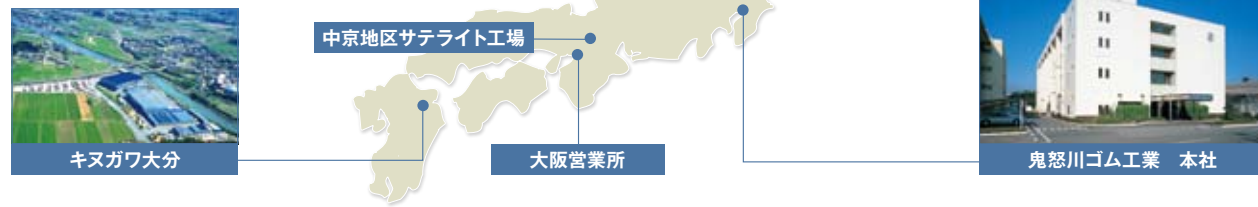
キヌガワ郡山
キヌガワ防振部品
キヌガワ大分
キヌガワブレーキ部品

業務提携

東洋ゴム工業
ハッチソン (フランス)

国内関係会社

佐藤ゴム化学工業 (千葉県成田市)
ナリタ合成 (千葉県成田市)
帝都ゴム (埼玉県入間市)
ケイジー物流 (千葉県千葉市)
キヌテック (千葉県千葉市)
エスイーシー化成 (山口県周南市)
八洲ゴム工業 (埼玉県越谷市)
根本精機 (千葉県千葉市)



製品のご紹介

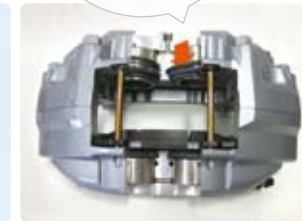
自動車部品



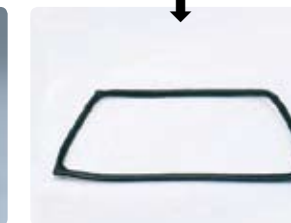
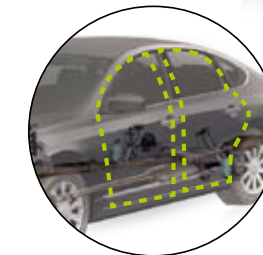
エンジンマウント プッシュ



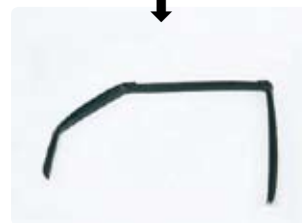
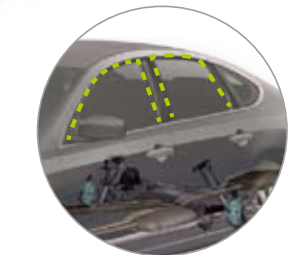
ペダル



ブレーキカップ



ウェルトボディサイド



ガラスラン



ホース



バンパー

非自動車部品

[建設機械用部品]



建機キャブマウント



建機トルクロッド



建機ホース

[建築資材]



リサイクル弾性床材
「ライル」



駐車場用車止め
「止輪くん」

株式の状況 2011年9月30日現在

発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式総数 67,299,522株 (自己株式58,999株)
 株主数 5,966名

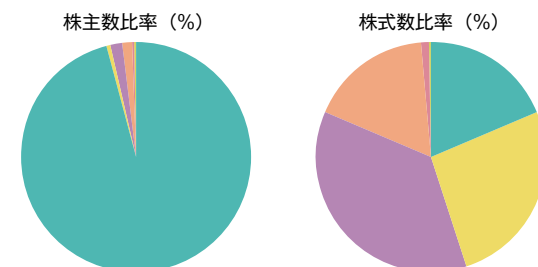
大株主

No	株主名	所有株数	比率
1	日産自動車株式会社	13,627,024	20.27
2	東洋ゴム工業株式会社	8,000,000	11.90
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,837,000	7.19
4	SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	3,271,000	4.86
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,512,000	3.74
6	日本生命保険相互会社	1,793,400	2.67
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,734,000	2.58
8	株式会社みずほコーポレート銀行	1,336,964	1.99
9	株式会社損害保険ジャパン	873,680	1.30
10	株式会社りそな銀行	815,000	1.21

(注) 比率は自己株式58,999株を控除して計算しております。

所有者別分布状況・所有株数別分布状況

所有者区分	株主数比率(%)	株式数比率(%)
個人・その他	95.89	18.87
金融機関	0.60	26.22
その他国内法人	1.69	36.53
外国人	1.36	17.03
証券会社	0.44	1.27
自己名義株式	0.02	0.08



	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3(予)
当期純利益(百万円)	486	796	2,977	4,467	5,200
1株当り当期純利益(円)	7.25	11.86	44.35	66.56	77.33
1株当り配当金(円)	3	3	4	5	6

株式のご案内(株主メモ)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金交付株主確定日	3月31日 ※なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会における権利行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	
お取扱店		<ul style="list-style-type: none"> みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法	電子公告の方法により行う http://www.kinugawa-rubber.co.jp
------	----------------------------------------------------------------------------------------------